

広報 としま 9



平成 26 年 09 月 26 日発行 (隔月発行) Toshima Village Public Relation 2014.09. No.211



▲臥蛇島集落跡 (平成 26 年 9 月 6 日撮影) 標高約 60m



CONTENTS

悪石島ボゼ祭り、口之島狂言・盆踊りが実施されました。

詳しくは>>2～3ページへ

平成 26 年度村政座談会が実施されました。

詳しくは>>4～5ページへ

臥蛇島調査が実施されました。

詳しくは>>7ページへ

口之島 盆踊り / 狂言



この盆踊りには、島の男性が踊り手となって参加し、真剣さと勇ましさを、笑いと娯楽を兼ね備え、踊りの中に狂言が組み込まれているのが、最大の特徴です。

狂言は40年以上前から口頭だけで継承されてきました。難度の高い多くの狂言用語や先唄など、島独自の伝統文化を現代まで正確に伝え残してきた先人の「努力」と「想い」には大変驚かされるとともに、この文化を絶やすことなく、後世に向け伝え残していかなければなりません。口之島自治会では青年団を中心に、限られた人数の中で正確且つ質の高い継承を目指し、活動しています。

今年も子供から大人まで、多くの住民が参加した「口之島盆踊り」。世代を超え、地域が一つになり、盛大に開催されました。

悪石島 ボゼ祭り



毎年恒例の悪石島ボゼ祭り、口之島盆踊り・狂言が実施されました。今年も台風の影響により、3年連続で本村企画のツアーが中止になってしまい、例年より静けさの漂う神妙な行事となりました。

「ボゼ」は来訪神のひとつと言われ、死霊臭の漂う人々を新鮮な生（太陽）の世界へ立ち戻らせる、転換の役目を果たすとともに、人々の穢れを清め、平常の生き生きとした生活に戻す役割を担っています。

ボゼは女性や子供たちを追いまわし、ボゼマラで赤土を塗られると、無病息災と言われており、人々の厄をはらい豊饒と繁栄を祈ります。このボゼの出現により、お盆の終わりが告げられます。

平成 26 年度村政座談会



諏訪之瀬島



中之島



悪石島



平島



宝島



口之島

住民と行政が一体となった村政運営を実現するため、毎年開催している村政座談会が、去る平成26年7月1日から8月12日にかけて各島コミュニティーセンター等で開催されました。

会では例年同様、村の政策方針や、本庁各課の主要事務事業等の説明が行われた後、各島、各地域からの要望事項や、村政に対する質疑応答が行われました。

今回住民の皆様から出された、意見・要望事項等につきましては、事業実施の緊急性、必要性等を十分考慮し、村の財源状況等を見極めながら振興計画に掲げていくとともに、諸要望事項の早期解決に努めて参ります。



小宝島

期日	島名	出席者数内訳			会議時間
		男	女	計	
7月1日(火)	悪石島	21	9	30	4時間40分
7月5日(土)	宝島	23	7	30	4時間
7月12日(土)	口之島	30	7	37	3時間8分
7月13日(日)	中之島	17	8	25	3時間25分
7月14日(月)	諏訪之瀬島	22	12	34	3時間
7月29日(火)	平島	16	7	23	4時間14分
8月12日(火)	小宝島	12	4	16	2時間57分



▲防波堤



▲港から集落への坂道



▲学校跡

▼灯台



臥蛇島を調査

9月6日(土)、臥蛇島の現況調査及び確認のため、臥蛇島出身者2名、十島村村議員2名、役場職員8名の合計12名で状況調査を行いました。港の岸壁は波で一部が洗掘されており、上陸するには干潮の前後約3時間以内でないと洗掘されている区間は浸水してしまう状況で、年々拡大しているということでした。また、集落への道は、山側にロープによる簡易手摺は設置してありましたが、海側には転落防止柵等の安全対策物がなく、危険な状態でした。集落跡地は全体が芝で覆われており、灯台倉庫や電話中継所跡などのコンクリート構造物が残っていました。平成23年10月に設置された供養石碑は特に破損等はなく、出身者により焼酎、花が手向けられ、全員で線香をあげることができました。また、神社跡地には当時保管してあった、祭用の品を奉納した石碑がありました。ヘリポートにつきましては、黄色のヘリポートマークが薄くなっているものの、目地から草等が生い茂る事なく使用上の問題はなさそうでした。

今回の視察を通して、出身者の故郷への強い帰郷の思いが伝わってきました。出身者の高齢化が進むにつれ、岸壁や、急勾配機関筒所の問題を解決しなければ、安全に入島することは難しいため、これから検討していく必要があります。



十島中学生バドミントン県大会に出場!

7月23日～7月24日に桜島総合体育館で開催された県中学校総合体育大会のバドミントンの部に、中之島から4名、平島から1名、諏訪之瀬島から4名、宝島から2名の計11名の生徒が出場しました。11名ともこれまでの練習を發揮しようと精一杯のプレーだったと思います。それぞれに中学生活での貴重なそして忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。



マリンキッズたからが大浜フェスティバルに参加!



8月23日、奄美市の大浜フェスティバルで『マリンキッズたから』(宝島小中学校学校児童生徒)がスティールドラムの演奏をしてきました。子ども達は、この日のために夏休みも練習を重ねてきました。島外での演奏は、初めての子ども達ばかりで緊張していましたが、4曲を堂々と演奏し、スティールパンの美しい音色に会場からは、大きな拍手を頂き、子ども達は大きな自信と夏休みのステキな思い出ができました。

これからも、みなさんのご支援をよろしくお願いいたします。

マリンキッズたから



雨量観測所の新設について



気象庁では、平成25年台風第26号による伊豆大島の大雨被害等を受けて、島しょ部や近年豪雨災害が起きている地域に雨量計を増設することとし、全国で13箇所の雨量観測所の新設を進めています。

このうち本村では、平島（9月下旬運用開始予定）・諏訪之瀬島（9月3日運用開始）・小宝島（9月3日運用開始）・宝島（7月30日運用開始）の4箇所が対象となっております。観測された雨量データは気象庁のホームページで閲覧する事が出来ます。



▲小宝島

防災会議は、地域防災計画の策定（修正）及び実施の推薦などを目的として、村長を会長として、鹿児島海上保安部、鹿児島地域振興局、十島村消防団長、自衛隊、警察、ライフライン事業者などのメンバーで構成されています。村の防災計画の策定状況は、昭和55年（1980年）に地域防災計画を策定、平成7年（1995年）地域防災計画「火山災害対策編」を策定しておりますが、平成7年（1995年）1月17日に発生しました阪神・淡路大震災、あるいは平成23年（2011年）3月11日の東日本大震災等の発生により、早急な見直しが求められてきました。今回は、基本的には全面改訂ということになり、鹿児島県の計画に準じて、一般災害対策編・地震災害対策編・津波災害対策編・火山災害対策編の4編の構成としており、本会議で計画の概要説明を行い、意見交換を行いました。今後メンバーからの意見を反映し修正した内容で承認を受けて地域防災計画の改定を行います。



8月18日（月）、 十島村防災会議が開催されました。

人権同和問題について 職員研修が行われました。

9月5日、十島村役場4階会議室にて、第2回職員研修を実施しました。第2回職員研修は、鹿児島県人権同和对策課の鎌田 豊作研修専門員を講師に招いて、人権同和問題について講演をしていただきました。職場での人権同和問題について、女性の人権、障害者の人権等、改めて考える良い機会になったのではないかと思います。



米盛病院「レッドウイング」デモフライト

米盛病院に導入された民間医療用ヘリコプター「レッドウイング」が7月24日に各島のヘリポートの離発着訓練及び消防団との急患搬送時の手順確認等を行いました。

レッドウイングはドクターヘリを補完する形で運航を予定しています。ドクターヘリの運航範囲は、口之島と晴天時の中之島となっておりますが、レッドウイングは、燃料タンクを増設し、宝島まで運航できます。また、鹿児島市の与次郎に9月9日に新築移転した新病院の屋上にはヘリポートが整備しており、直接病院へ搬送でき搬送時間の短縮が期待できます。



坂元勇氏が消防団長に就任

任期満了に伴い、十島村消防団の団長を3年務めた日高久志さん（平島）が5月末で退任され、各島の消防分団長等によるTV会議により6月から副団長であった坂元勇さん（悪石島）が新団長に、濱崎順一さん（小宝島）が副団長に就任されました。

【坂元勇新団長のあいさつ】

十島村の7つの分団で力を合わせて村民の皆様の生命・身体及び財産を災害から守るため日々精進してまいります。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



消防団分団の構成（平成26年8月31日時点）

所 属	団 員（定 員）	分 団 長
口之島分団	9名（9名）	日高 創
中之島分団	11名（12名）	小林 良人
平島分団	7名（8名）	日高 正一
諏訪之瀬島分団	8名（8名）	杉田 充典
悪石島分団	7名（8名）	坂元 勇
小宝島分団	6名（6名）	濱崎 順一
宝島分団	9名（9名）	中木原 光茂

10月1日（水）から10月31日（金）は

「漁船海難防止月間」です！！

南九州海域は好漁場で漁業活動が盛んですが、多数の一般船舶が行き交う海域でもあります。この海域では、漁船海難が後を絶たず毎年多くの尊い命が失われています。毎年10月は官民一体となって漁船海難防止強調運動を展開し、悲惨な海難の撲滅を目指しています。漁労に際しては、「①見張り徹底」「②気象・海象情報の入手」「③ライフジャケット常時着用」を遵守し、安全な操業を心がけて下さい。



鹿児島海上保安部

地震・津波避難訓練

9月1日（月）防災の日に、島民・滞在者等の合計496名が参加した地震津波避難訓練が行われました。

この訓練は、15時にトカラ列島沖での大規模な地震の発生、及びそれに伴う大津波警報の発表により、住民の皆様の島内避難が必要となった事態を想定した避難訓練です。

当日の訓練は、15時00分に行政防災無線により緊急地震速報、15時04分に大津波警報が発表され、消防分団や自主防災組織により避難誘導及び安否確認を行い、全員の安否が確認できたら出張員より役場へ報告する流れで行いました。また、訓練終了後の16時から、県の防災アドバイザーの馬渡和男氏による「発災後、時間経過に伴う具体的対応（個人・家族）」の防災講演会がTV会議システムにより行われ、約250名が参加しました。

今後も定期的に避難訓練を実施し、今回の訓練の反省点を改善しより万全な防災体制の確立に向けて努めて参ります。

ご協力ありがとうございました。

避難完了報告時間、参加者人数

	口之島	中之島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島	平均時間 合計人数
報告時間	15:27	15:30	15:30	15:23	15:18	15:17	15:20	15:24
参加者（名）	96	84	59	62	54	50	91	496



平成 26 年 9 月 1 日から指定宿泊施設として 「ホテル&レジデンス南洲館」「奄美ウィークリー マンション」がご利用できるようになりました！

「指定宿泊施設制度」とは・・・十島村滞在費用助成事業実施要綱に基づく、外海離島である十島村の住民の経済活動や医療福祉の受給等における交通の格差解消の一端として、住民の都市部への滞在時の宿泊費用等を助成する制度のことです。

「ホテル&レジデンス南洲館」

住所：鹿児島市東千石町19-17
問い合わせ先
：ホテル&レジデンス南洲館
TEL：099-226-8188



←ホテル&レジデンス南洲館施設外観

注 1. 中学生以上を大人、小学生以下を小人で表記しています。
注 2. シングル以外は1人当たりの金額を表記しています。
注 3. この他ダブル、クイーンダブルといった部屋があります。

サービス内容	種別	単位	金額	住民負担 (70歳以上及び中学生以下)	住民負担 (その他の利用者)	住民負担 (子ども)
① シングル	大人	1泊	4,200円	2,100円	2,600円	700円
② セミダブル	大人	1泊	3,250円	1,630円	1,650円	700円
③ ツイン	大人	1泊	4,200円	2,100円	2,600円	700円
④ レジデンス	大人	1泊	4,000円	2,000円	2,400円	700円

「奄美ウィークリーマンション」

住所：奄美市名瀬伊津部町9-23
問い合わせ先
：奄美ウィークリーマンション
TEL：0997-52-0509



←奄美ウィークリーマンション外観写真

注 1. 中学生以上を大人、小学生以下を小人で表記しています。

サービス内容	種別	単位	金額	住民負担 (70歳以上及び中学生以下)	住民負担 (その他の利用者)	住民負担 (子ども)
① 素泊まり 6日間以下	大人	1泊	3,000円	1,500円	1,500円	700円
② 素泊まり 7日間以上	大人	1泊	2,800円	1,400円	1,400円	700円

トラッキング現象にご注意！

プラグを長い期間コンセントに差し込んだままにしておくと、プラグとコンセントの隙間にホコリがたまり、このホコリが原因で発火につながる現象を「トラッキング現象」といいます。

プラグとコンセントの隙間にたまったホコリが湿気を帯びると、火花が出ます。これを長い時間放っておくと、プラグ間に電気が流れ発熱し、発火する「トラッキング現象」が起こります。

家電製品は使用していなくても通電状態であれば、いつでも出火する可能性があります。長時間コンセントを入れたままにする冷蔵庫、テレビやビデオ、パソコンに起こりやすく、キッチンや洗面所など湿気の多い場所も要注意です。



～トラッキング現象を防ぐポイント～

- 長時間差し込んだまま使っているプラグは、ときどき抜き、乾いた布でホコリを拭き取りましょう。
- プラグが変色・変形していたら取替えましょう。
- 使用しない家電製品は、コンセントから取り外しましょう。

トラッキング現象による火災は毎年多く発生しています。これらを防ぐためにも、こまめにお手入れしましょう。

～各島の地域づくり補助金の

活用状況についてご紹介します。～



平成 22 年度からそれぞれの地域の特色を活かし、地域の住民が暮らしよい地域を作るため、住民が主体となった地域おこしのための組織が立ち上げられました。(宝島では自治会が地域づくり活動をしています)

村ではこの地域づくり活動を支援するため、地域づくり活動の補助金制度を創設し、地域が自ら行う事業に対し補助金を交付する「地域振興推進事業」として事業を開始し、本年度 4 年目を迎えたところです。

ここでは、この地域づくり活動補助金制度を利用し実施された、平成 25 年度における各島の補助金活用状況をご紹介します。

<p>口之島ふるさとづくり委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会島外参加者の船賃助成 ・児童生徒用エイサー服購入 ・エッジポイント設置 ・運動用品購入 	<p>中之島ふるさとづくり委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会島外参加者の船賃補助 ・運動会開催記念パネル（集合写真）製作 ・観光パネル製作 ・中之島太鼓購入
<p>平島島おこし委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸壁壁面塗替補修 ・ゴミステーション改修 ・無人販売所整備 	<p>諏訪之瀬島</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント用物品購入 和太鼓、スタンド付マイク、花火等
<p>悪石島</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電撃殺虫剤購入 ・運動会島外参加者船賃補助 ・温泉施設改装 	<p>小宝島</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッサージチェア購入設置
<p>宝島</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会島外参加者船賃補助 ・国民文化祭に向けてのスチールドラム再復活事業 ・ハイビスカスロード美化事業 	



平成 26 年度 8 月末現在

介護保険料	国民健康保険税	水道使用料	軽自動車税	固定資産税	村県民税
未納額 338 千円	未納額 1,328 千円	未納額 37 千円	未納額 82 千円	未納額 1,119 千円	未納額 1,243 千円

村税等各種料金の
100%収納完了に
ご理解とご協力をお
願いします。

納税はお済みですか！

本村において、貴重な自主財源である村税等各種料金の滞納金や、義務を果たさず、権利だけを主張する滞納者を放置しておくことは、村財政に悪影響を及ぼすだけでなく、納期限内に納付し、遅延無く納税義務を果たされた大多数の皆さんに対して公平性を欠くこととなります。

その対策として村では村税等各種料金において滞納がある場合、村が単独で交付、支給する一部の補助金、貸付金、及び賃金等の支給において停止、制限することとしています。

滞納税等のある方は、早急且つ確実に納入していただきますよう宜しくお願い致します。

鹿兒島地方法務局からのお知らせです。

◎鹿兒島地方法務局における登記相談の予約制について

鹿兒島地方法務局における登記相談については、下記のとおり予約制が試行されますので、今後、登記相談をされる方は、事前に予約が必要となります。

記

試行開始日 平成 26 年 10 月 1 日(水)

予約受付開始日 平成 26 年 9 月 24 日(水)午前 8 時 30 分から

相談日 月曜日から金曜日 (祝祭日を除く。)

申込先 鹿兒島市鴨池新町 1 番 2 号 鹿兒島地方法務局

【問合せ先】： 不動産登記に関する登記 099-259-0682
： 商業法人に関する登記 099-259-0636

鹿兒島地方裁判所・鹿兒島検察審査会からのお知らせです。

平成 27 年度の「裁判員候補者」又は「検察審査員候補者」に選ばれた皆さんへ

それぞれの候補者は、選挙権を有する県民の中からくじで選定されます。選定された候補者の方へは、11 月中旬ころに「裁判員候補者名簿への記載のお知らせ」又は「検察審査員候補者名簿への記載のお知らせ」が届きます。国民が司法に参加する二つの制度です。ぜひご協力ください。

なお、わからないことがありましたら、それぞれの問い合わせ先へお尋ねください。

【問合せ先】

裁判員 …鹿兒島地方裁判所刑事部 裁判員係 099-222-7157

検察審査員 …鹿兒島検察審査会事務局 099-808-3719

大和村が十島村の人口対策研修

国においても人口激減対策が重要課題として安倍政権でも取り上げられていることは記憶に新しいところです。

十島村においては、平成22年度から就業者支援事業、空き家利活用事業、定住対策窓口の一本化、定住促進プロジェクトチームの設置などを進めてきた結果、ここ数年人口が増加に転じてきております。昨年10月1日の推計人口によると、県内43市町村のうち対前年と比較し人口が増えているのは十島村と鹿児島市のみという結果になっております。十島村も人口が600人を割り込むところから現在、660人ぐらいまで回復してきております。

そのような中、大崎町議会につづき、奄美大島の大和村の伊集院町長、職員4名の方々が十島村に人口対策の研修にお越しいただきました。十島村の人口対策の取り組み、大和村の保育制度など、貴重な意見交換ができました。

近年では、人口が増えていることから様々なメディアに取り上げられることが多くなった十島村ですが、医師の常駐化の問題や保育体制の確立など定住人口の拡大に向けた課題はまだ多く残されています。十島村は、高齢者の自然減はもとより、高校が無いため、中学を卒業すると子どもたちが島外に出るため、確実に人口が減る要素が他の地域よりも多い状況にあります。毎年、20人以上のUターン者を受け入れていかなければ、現在の人口は維持できません。油断することなく、行政、地域、Uターン者が同じ目標・目的を持って地域を活性化させ、人口対策を継続していくことが大切です。



十島村農業委員会委員選挙及び総会が行われました

平成26年7月1日に告示された十島村農業委員会委員選挙につきましては、候補者の数が定数を超えなかったため、無投票となり、選挙の結果、左記の7名が委員として当選いたしました。皆さまのご理解とご協力を賜り、大きな問題もなく無事に選挙を執行することができました。

また、平成26年8月4日には、改選後初の農業委員会総会が開催され、会長には前期に引き続き、肥後正司氏が就任しました。

- 十島村農業委員会委員
- 会長 肥後 正司
- 口之島農業委員 中村 巧
- 中之島農業委員 大野 正己
- 平島農業委員 用澤 臨
- 諏訪之瀬島農業委員 山木 廣美
(※会長代理)
- 悪石島農業委員 有川 睦男
- 小宝島農業委員 岩下 正行
- 宝島農業委員 平田 秀喜

《選挙管理委員会からお知らせ》

本年度末は次のように選挙が控えております。今後とも皆さまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ 鹿児島県議会議員選挙執行予定 ○

平成27年4月(日程未定)

税抜価格、単価：円

	出荷頭数			合計金額			平均価格		
	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計
登記	17	17	34	8,935,000	7,547,000	16,482,000	525,588	443,941	484,765
総計	17	17	34	8,935,000	7,547,000	16,482,000	525,588	443,941	484,765



最高価格	
去勢	雌
608,000 松元憲治さん	525,000 用澤利幸さん

9月8日(月)、鹿児島中央家畜市場にて、子牛のセリが行われました。結果は次のとおりです。

子牛のセリが行われました

鹿児島県立農業大学校 学生募集！！

<一般入試>

- 定員 農学部(野菜科 35名, 花き科 10名, 茶業科 15名, 果樹科 10名)
畜産学部(肉用牛科 25名, 酪農科 10名, 養豚科 10名)

●受験資格

1. 高等学校を卒業した者若しくは平成27年3月に卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。
2. 卒業後、農業に従事する見込みがあり、心身ともに健康な者。

- 出願受付期間 10月27日(月)～11月10日(月)【当日消印有効】

- 入学試験日 平成26年11月26日(水)

- 出願方法 本校にお問い合わせください。

- 問い合わせ先 鹿児島県立農業大学校 教務指導課

〒899-3311 日置市吹上町和田1800

TEL:(099)245-1071

鹿児島県立農大

※8月末までに発行できる場合は、下記の項目も掲載してください。



<推薦入試>

- 定員 学科定員のおおむね1/2以内

●受験資格

鹿児島県内の高等学校を平成27年3月卒業見込みの者で、次の各項に該当し、高等学校長が推薦する者とする。

- 1 本人または保護者の現住所が鹿児島県にある者
- 2 本校に入学する意志が確実で入学を強く希望する者
- 3 卒業後県内において農業に従事し、地域の農業振興につくす意志が強固であり人物が優秀で心身ともに健康な者
- 4 学業成績は教科科目の評定値の平均が「3.0」以上の者

- 出願受付期間 9月9日(火)～9月24日(水)【当日消印有効】

- 入学試験日 平成26年10月8日(水)

「トカラ農業チャレンジ講座」を開催しています！！

十島村では、テレビ会議システムを活用して、農業(畜産を含む)の基礎的な知識を習得するための講座を開催しております。国又は村の給付金受給者をはじめ、農産物等を栽培している方や興味のある方は是非受講してください。

- 1 主催：十島村地域振興課産業振興室
(協力機関：鹿児島地域振興局農政普及課)
- 2 実施期間：平成26年7月～平成26年12月
- 3 実施方法及び場所
(1) 実施方法 村のテレビ会議システムを利用して実施
(2) 場所 各島コミュニティセンター等
- 4 時期及び内容
別紙「トカラ農業チャレンジ講座日程表」参照



▲開講式の様子



▲第1回講座中の様子

トカラ農業チャレンジ講座 日程表

日 時	場 所	内 容	講 師	備 考
7月31日(木) 10:00～11:40	役場会議室	開講式 農業を始めるに当って 野菜の主要病害虫防除 について	脇門 敏治 営農指導員 森山浩一 技術主査	済
8月21日(木) 15:00～16:00	役場会議室	肉用牛の繁殖成績向上 対策について	紙屋徹士 技術専門員	済
8月28日(木) 10:30～11:30	役場会議室	サンセベリアの炭疽病 対策とハウス管理につ いて	諏訪康子 技術主査	済
9月4日(木) 10:30～11:30	役場会議室	ショウガ、ニンニク、ラ ッキョウの栽培につい て	森山浩一 技術主査	(済)
9月18日(木) 13:30～14:30	役場会議室	果樹の夏～秋の管理につ いて	八丸珠恵 技術主査	(済)
10月2日(木) 10:00～11:30	役場会議室	農作業の安全対策につ いて 防風対策について	紙屋徹士 技術専門員 脇門敏治 営農指導員	
10月23日(木) 10:30～11:30	役場会議室	秋冬作の飼料作物栽培 について	福島仁司 技術主査	
11月6日(木) 10:30～11:30	役場会議室	農業経営と記帳につい て	上福元真寿美 技術専門員	
11月20日(木) 10:30～11:30	役場会議室	肥料の種類と使い方につ いて	脇門敏治 営農指導	
12月11日(木) 10:30～11:30	役場会議室	バナナ栽培について	脇門敏治 営農指導員	
12月18日(木) 10:00～11:30	役場会議室	青年就農給付金制度の 受給にあたって 閉講式	大野 茂 技術専門員	

※上記日程は変更することがあります。

※日時を変更する場合は防災無線にて事前に周知いたします。

長崎税関からのお知らせ

税関では、終戦後、外地から引き揚げて来られた方々からお預かりした通貨や証券類をお返ししています。

お返しする通貨等は次のものです。

1. 終戦後、外地から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券など
2. 外地の集結地において、総領事館、日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち、その後日本に返還されたもの

お預かりした通貨等の半分以上は返還のお申し出がなく、現在も税関に保管されたままになっています。

これらの返還については、ご本人だけでなく、ご家族の方も請求することができます。お心当たりの方は、お気軽に税関へお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】

長崎税関業務部税関相談官

(フリーダイヤル) 0120-828-680

〒850-0862 長崎市出島町1番36号

長崎税関ホームページによるお知らせも行っています。 <http://www.customs.go.jp/nagasaki/>



★小宝島ファミリー劇場へどうぞ★

期日：10月4日(土)

時間：17:00～18:30

場所：小宝島分校体育館

内容：みやまコンセール「お届けコンサート」

☆ サクソフォン (幸多 優)

☆ ピアノ (井ノ上綾香)

☆ 声楽 (瀬戸口 浩)

☆ トロンボーン (外山 友美)



人間ドック・脳ドック施設利用助成にかかるお知らせ

当事業は人間ドック・脳ドックの受診料の一部助成により、被保険者の意識向上とともに、住民の健康保持と健康増進に寄与し、もって健康で安心安全な村づくりの推進を図ることを目的としています。

1 対象者

国民健康保険被保険者・後期高齢者医療被保険者で、国保税・後期保険料の他、村税等を完納している世帯の方を対象にします。

2 助成額

受診費用の半額 (上限 30,000 円)

3 利用方法

- ① 住民課に利用申請書を提出 (下記対象施設名を記入してください。)
- ② 役場から利用券を受け取る。
- ③ 本人による病院との日程調整、予約を行う。(予約は利用券発行後をお願いいたします。)
- ④ 病院で人間ドック・脳ドックを受診し支払い窓口にて助成額を差し引いた金額を支払う。



4 対象医療機関

【人間ドック】

施設名	住所	電話
公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター	鹿児島市下伊敷三丁目1番7号	099-220-2332 (代表)
公益財団法人慈愛会 今村病院分院	鹿児島県鹿児島市鴨池新町11-23	099-285-3916 (直通)
公益社団法人鹿児島共済会 南風病院	鹿児島県鹿児島市長田町14-3	0120-332-411 (フリーダイヤル)

【脳ドック】

施設名	住所	電話
医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院	鹿児島市東千石町4-13	099-226-1491 (脳ドック専用)
公益財団法人昭和会 昭和会クリニック	鹿児島県鹿児島市下竜尾町2-6	099-226-2212 (代表)
公益社団法人鹿児島共済会 南風病院	鹿児島県鹿児島市長田町14-3	0120-332-411 (フリーダイヤル)

人権に関する強調週間・月間（9月～11月）

～人権のこと,みんなで考えてみましょう～

- 高齢者元気・ふれあい推進月間（9月～10月）
- 老人の日（9月15日）
- 老人週間（9月15日～21日）
- 犯罪被害者支援の日（10月3日）
- 児童虐待防止推進月間（11月）
- 女性に対する暴力をなくす運動（11月12日～25日）
- 鹿児島レッドリボン月間（11月16日～12月15日）



8月18日に教育長に就任いたしました有村孝一でございます。私は、今から26年前の平成元年から3年間、派遣社会教育主事として、十島村教育委員会に勤務いたしておりました。その間、さまざまな事業を実施しました。そのいずれの時にも、各島の皆さんに助けていただいたという記憶があります。とてもとても感謝しております。

十島村を離れてからも十島村のサポーターとして、新聞記事等を集めてきていました。そんな思い出深い十島村に再び帰ってくる事が出来ました。今回はあの時と立場は違いますが、やる気と意欲はあの時に少しも負けていないと思っています。

あれから四半世紀、船も1090トンの「としま」から1391トンの「フェリーとしま」に変わりました。この間に十島村は発展し、大きな変貌を遂げてきていると思います。その様子を見ることもとても楽しみであります。



教育長に有村孝一氏就任

十島村教育委員会
教育長
有村 孝一 氏



※手塚なつこ氏につきましては、8月1日より本庁の看護専門員として勤務しています。

中之島診療所看護師
手塚 なつこ 氏

教育長
原口 英典 氏

平成26年7月31日を持って、2名の職員が退職されました。長い間、お疲れ様でした。

退職職員のお知らせ

十島村がゴルフ漫画の舞台に!!!



週刊ゴルフダイジェストに掲載されています連載漫画「オーイ!とんぼ」は十島村を舞台に描かれています。ぜひご覧ください。



第30回国民文化祭（トカラの伝統芸能祭） ～あと400日余りに迫る!～

平成27年11月3日(火・祝)
会場:鹿児島市会場(ジェイドガーデンパレス)
時間:13:30～
内容:十島村各島の郷土芸能の披露

平成27年11月14日(土)
会場:宝島前籠漁港
時間:18:30～
内容:スティールドラム演奏
地元食材による料理のおもてなし

平成27年11月15日(日)
会場:フェリーとしま復航の各港
時間:6:55 しまごおはら,トカラ観音衆他(小宝島)
8:15 ボゼ,小・中学生のソーラン踊り(悪石島)
9:10 小・中学生の応援エール又は吹奏楽(諏訪之瀬島)
10:05 高砂,平島太鼓他(平島)
13:05 御岳太鼓,盆踊り他(中之島)
14:20 先踊り,口之島狂言,エイサー踊り他(口之島)
20:50 鹿児島港着



村営定期船 フェリーとしま

平成 26 年 10 月 運行予定

※3日・13日・17日出港便は実証試験運航(順路変更)、
24日出港便はマラソン特別ダイヤになっていますので、ご注意ください。

鹿兒島 ← 十島村 ← 名瀬



十島村 土木交通課 航路対策室
TEL: 099-222-2101
フェリーとしま
TEL: 090-3022-4523



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
予定	入		出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出
便区分			名瀬便(実証運航)			名瀬便				名瀬便(2泊)			名瀬便(実証運航)				名瀬便(実証運航)			名瀬便				マラソン便(宝島碇泊便)			名瀬便			名瀬便			名瀬便		

※実証運航の寄港順路は鹿兒島⇨口之島⇨中之島⇨諏訪之瀬島⇨平島⇨悪石島⇨小宝島⇨宝島⇨名瀬となっております。

オータムジャンボ宝くじが発売されます！

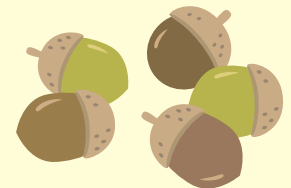
この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

1等 3億3,000万円 × 13本
(発売総額390億円・13ユニットの場合)

前後賞各 3,000万円 × 26本
(発売総額390億円・13ユニットの場合)

発売期間：平成26年9月19日(金)～10月10日(金)

抽選日：平成26年10月17日(金)



「広報としま」に掲載する

写真 & イラストを
募集しています！

あなただけの十島を
皆で共有しましょう！

▼詳しくは、下記までお問い合わせください。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報係
〒892-0822 鹿兒島市泉町14-15 tel:099-222-2101
よろしければ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 平成26年8月末現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	62	64	126	78
中之島	86	67	153	88
平島	34	28	62	37
諏訪之瀬島	38	32	70	35
悪石島	29	29	58	33
小宝島	33	29	62	31
宝島	66	61	127	73
合計	348	310	658	375